

2. 流域及び河川の概要

陣屋川の上流域は、筑前町依井地先の平野部にその源を發し、大刀洗町、久留米市の平野部を南に流下し、筑後川に合流する一級河川である。

陣屋川流域のほとんどが平坦な地形からなり、筑後平野の穀倉地帯の一部をなし、圃場整備された農地を利用した稲作がさかんに行われ、河川水は農業用水として利用されている。

流域全体の地形勾配が緩く、下流部の低平地では内水が発生しやすいことが特徴となっている。

陣屋川下流端には、陣屋川排水機場があり、出水時の筑後川本川水位が高い場合には水門等を閉め、必要に応じてポンプにより筑後川本川へ排水している。

以下に陣屋川の諸元を示す。陣屋川の流域面積は 26.8km²、河川延長は 11.4km となっており、筑後川右岸 36.8k 付近に流入する。

表 2-1 陣屋川の河川諸元

河川	流域面積	河川延長	合流先
陣屋川	26.8km ²	11.4km	筑後川右岸 36.8k 付近

筑後川流域図



陣屋川流域図



陣屋川排水機場
 排水量：13.6m³/s
 (6.8m³/s×2台)
 陣屋川水門
 諸元：B13.4m×H5.0m×3門



図 2-1 対象区域の位置図(陣屋川)

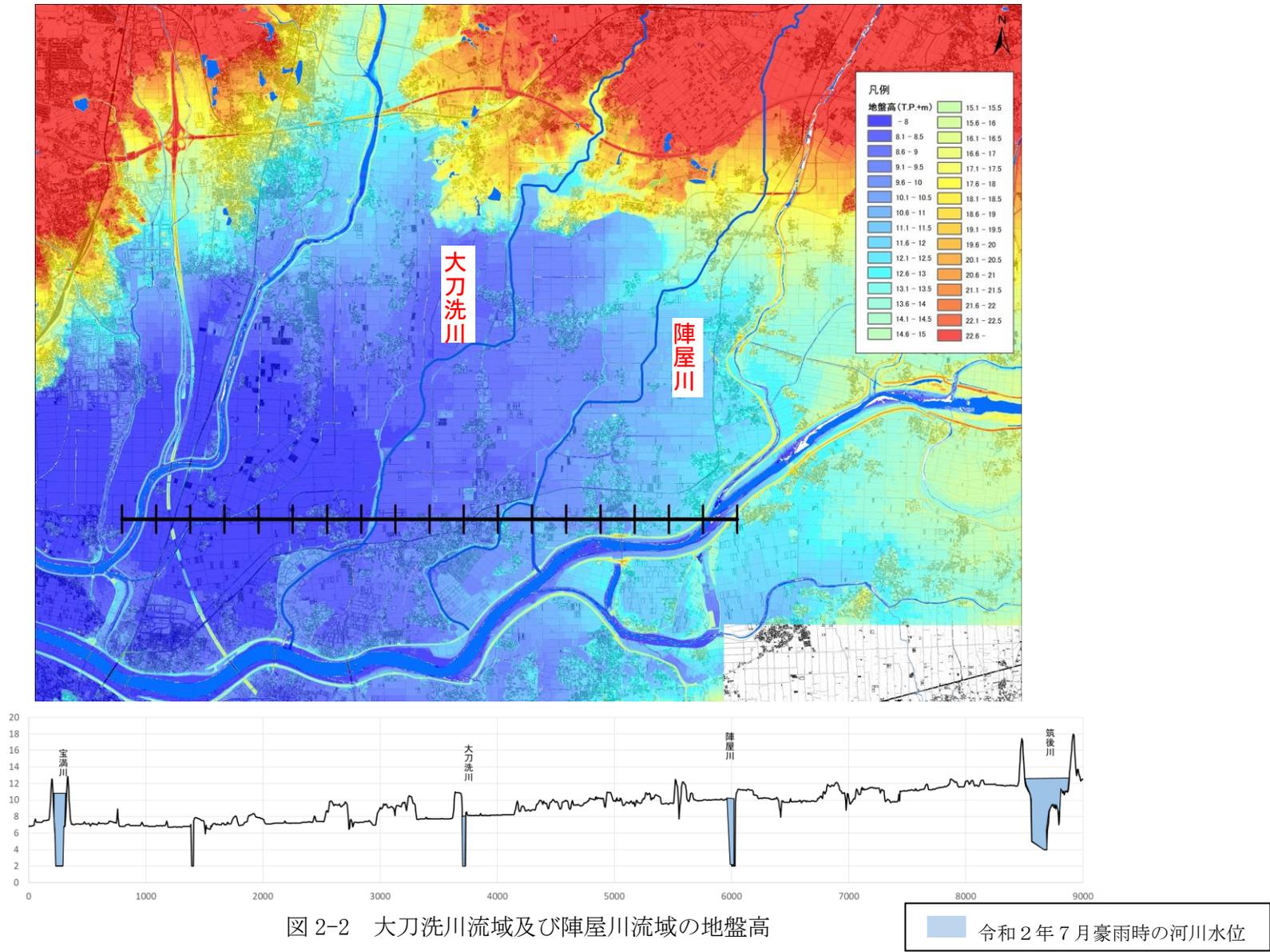
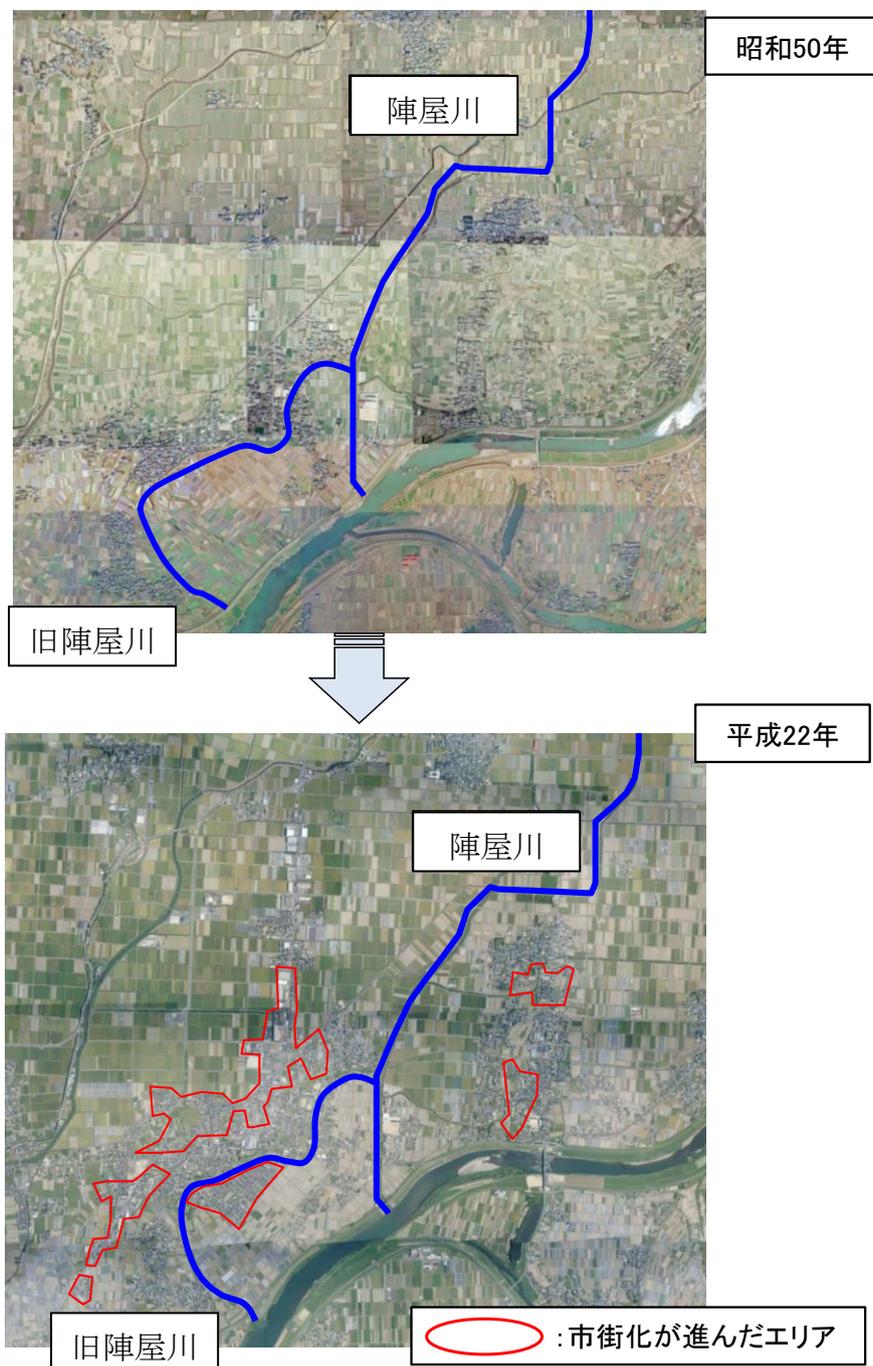


図 2-2 大刀洗川流域及び陣屋川流域の地盤高

令和2年7月豪雨時の河川水位

陣屋川流域の土地利用の変化を見ると、昭和50年と比較して平成22年は、陣屋川下流域で水田として利用されていた土地が市街化している。



出典：国土地理院

写真 2-1 陣屋川流域の土地利用状況の変遷